

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月8日

上場会社名 システム・ロケーション
 コード番号 2480 URL <http://www.slc.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 千村 岳彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部管掌 (氏名) 橋本 祐紀典
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月13日

上場取引所 JQ

TEL 03-3234-1058

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	345	△12.7	85	△18.7	87	△19.2	49	11.0
20年3月期第1四半期	395	△3.6	105	△26.5	108	△17.1	44	△42.9

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第1四半期	13.96	—	—	—
20年3月期第1四半期	12.54	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円		百万円		%	円 銭
21年3月期第1四半期	2,373		1,437		60.5	403.97
20年3月期	2,710		1,487		54.9	417.75

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 1,437百万円 20年3月期 1,487百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	30.00	30.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	669	△7.8	121	△34.9	121	△36.4	63	△29.9	17.92
通期	1,400	0.1	300	△12.2	282	△19.4	148	△20.7	41.72

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

〔(注)詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

〔(注)詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

〔(注)詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 3,570,000株 20年3月期 3,570,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 12,463株 20年3月期 8,232株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 3,558,932株 20年3月期第1四半期 3,570,000株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、サブプライム住宅ローンに端を発した世界的な金融市場の混乱や、長期化する原油、原材料価格の高騰による物価上昇懸念から個人消費の伸び悩みや企業収益が圧迫され、景気の先行き不透明感を強めながら推移してまいりました。

このような中、当社グループの当第1四半期連結会計期間の業績は、入札会出品台数では前年同期18,773台に対し、今期19,008台となり、前年同期比1.3%の微増となったものの、大手オートリース企業間の合従連衡による出品料単価の引き下げによる影響及び前連結会計年度まで行っていた車両売買による営業業務支援事業を、入札会出品車両獲得のための付随サービスという位置づけで、今期より再販業務支援事業に統合したことにより当該売上が大幅に減少したため、結果として再販業務支援売上は前年同期比16.2%減の292,562千円となりました。

一方、システム業務支援売上は新規顧客増による定期的なシステムレンタル収入増に加え、新規開発案件等の売上寄与により前年同期比12.8%増の52,827千円となりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間における売上高は345,389千円で前年同期比12.7%減の減収となりました。販管費及び一般管理費は、テレセールス等による支払手数料の増加や社内利用のシステム導入に伴う減価償却費の増加があったものの、派遣社員の正社員、契約社員化に伴う業務委託費の減少等により全体として前年同期比1.3%減の119,372千円となり、営業利益は前年同期比18.7%減の85,435千円、経常利益では前年同期比19.2%減の87,647千円となりました。これに特別損益及び法人税等を加減した四半期純利益は前年同期比11.0%増の49,668千円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期における総資産は、前連結会計年度末より336百万円減少し、2,373百万円となりました。その主な要因としましては、現金及び預金の減少額434百万円、仕入債務の減少額222百万円によるものであります。

なお、純資産は1,437百万円となり、自己資本比率は60.5%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当四半期連結会計期間における現金及び現金同等物の残高は1,225百万円となり、前連結会計年度末と比較して454百万円の減少となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は204百万円の支出となりました。主なプラス要因は、税金等調整前四半期純利益87百万円、売上債権の減少額18百万円等であり、主なマイナス要因は、仕入債務の減少額222百万円等であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は145百万円の支出となりました。主な要因は、定期預金の預入による支出70百万円、無形固定資産の取得による支出42百万円等であります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は104百万円となりました。主な要因は、配当金の支払額101百万円によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期業績は、上述の通り前年同期に比べ厳しい状況ではありますが、当連結会計年度の当初予想に対しましては順調に推移しており、第2四半期連結累計期間及び通期におきまして、平成20年5月9日付「平成20年3月期決算短信」に記載致しました、当期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の業績予想は変更しておりません。今後、業績予想数値に修正が生じる場合は速やかに公表致します。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

- ②「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。

これによる、売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響はありません。

- ③所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引にかかる方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号）を当第1四半期連結会計期間から早期適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、リース資産が有形固定資産に5,345千円計上されておりますが、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

5. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,170,297	1,605,216
売掛金	72,904	74,224
営業未収入金	12,543	30,167
有価証券	124,728	124,607
商品	336	38
仕掛品	3,465	3,465
貯蔵品	422	513
その他	75,235	42,232
貸倒引当金	△19	△11
流動資産合計	1,459,914	1,880,452
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	145,975	145,975
減価償却累計額	△30,095	△26,138
建物及び構築物（純額）	115,880	119,836
車両運搬具	8,817	8,817
減価償却累計額	△3,585	△3,131
車両運搬具（純額）	5,231	5,685
工具、器具及び備品	70,690	64,325
減価償却累計額	△37,256	△34,189
工具、器具及び備品（純額）	33,434	30,136
リース資産	5,345	—
減価償却累計額	△102	—
リース資産（純額）	5,243	—
その他	2,739	—
有形固定資産合計	162,529	155,658
無形固定資産	146,687	123,962
投資その他の資産		
投資有価証券	372,403	359,963
その他	232,323	190,104
投資その他の資産合計	604,726	550,068
固定資産合計	913,943	829,689
資産合計	2,373,858	2,710,141

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	23,414	29,216
営業未払金	675,792	892,265
未払法人税等	32,187	94,577
賞与引当金	9,232	14,620
その他	73,037	80,528
流動負債合計	813,665	1,111,208
固定負債		
退職給付引当金	10,131	9,364
役員退職慰労引当金	94,602	92,493
負ののれん	162	194
その他	18,156	8,936
固定負債合計	123,052	110,988
負債合計	936,717	1,222,196
純資産の部		
株主資本		
資本金	191,445	191,445
資本剰余金	191,230	191,230
利益剰余金	989,765	1,046,949
自己株式	△8,689	△6,278
株主資本合計	1,363,751	1,423,346
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	73,389	64,598
評価・換算差額等合計	73,389	64,598
純資産合計	1,437,141	1,487,944
負債純資産合計	2,373,858	2,710,141

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
売上高	345,389
売上原価	140,581
売上総利益	204,808
販売費及び一般管理費	119,372
営業利益	85,435
営業外収益	
受取利息	674
受取配当金	2,240
負ののれん償却額	32
受取事務手数料	1,186
その他	497
営業外収益合計	4,630
営業外費用	
持分法による投資損失	2,383
その他	35
営業外費用合計	2,418
経常利益	87,647
税金等調整前四半期純利益	87,647
法人税、住民税及び事業税	31,358
法人税等調整額	6,620
法人税等合計	37,978
四半期純利益	49,668

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1 四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	87,647
減価償却費	16,575
引当金の増減額 (△は減少)	△2,504
受取利息及び受取配当金	△2,914
持分法による投資損益 (△は益)	2,383
売上債権の増減額 (△は増加)	18,942
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,507
仕入債務の増減額 (△は減少)	△222,274
前受金の増減額 (△は減少)	△3,907
その他	△5,909
小計	△115,467
利息及び配当金の受取額	2,914
法人税等の支払額	△92,403
営業活動によるキャッシュ・フロー	△204,956
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	50,000
定期預金の預入による支出	△70,000
有形固定資産の取得による支出	△11,284
無形固定資産の取得による支出	△42,226
差入保証金の差入による支出	△4,242
貸付けによる支出	△30,000
保険積立金の積立による支出	△37,958
投資活動によるキャッシュ・フロー	△145,712
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△2,411
配当金の支払額	△101,682
財務活動によるキャッシュ・フロー	△104,093
現金及び現金同等物に係る換算差額	△36
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△454,798
現金及び現金同等物の期首残高	1,679,823
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,225,025

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第１四半期連結累計期間（自平成20年４月１日 至平成20年６月30日）

当社グループは、車両再販業務支援、システム業務支援を融合した、不可分一体の事業として行っているため、事業の種類別セグメント情報の開示を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第１四半期連結累計期間（自平成20年４月１日 至平成20年６月30日）

本邦以外の国又は、地域に所在する連結子会社がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

当第１四半期連結累計期間（自平成20年４月１日 至平成20年６月30日）

当社グループの海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期連結累計期間)
	金額 (千円)
I 売上高	395,777
II 売上原価	169,688
売上総利益	226,088
III 販売費及び一般管理費	120,971
営業利益	105,116
IV 営業外収益	3,849
V 営業外費用	464
経常利益	108,501
VI 特別利益	815
VII 特別損失	373
税金等調整前四半期純利益	108,943
税金費用	64,183
四半期純利益	44,759

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期連結累計期間)
区分	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金調整前四半期純利益	108,943
減価償却費	13,215
引当金の増減額 (減少: △)	△2,071
受取利息及び受取配当金	△2,358
支払利息	160
保険解約益	72
固定資産売却益	△815
固定資産除却損	373
売掛債権の増減額 (増加: △)	44,970
たな卸資産の増減額 (増加: △)	11,392
仕入債務の増減額 (減少: △)	△17,714
その他	△4,866
小計	151,304
利息及び配当金の受取額	2,358
利息の支払額	△160
法人税等の支払額	△84,554
営業活動によるキャッシュ・フロー	68,947
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△18,326
有形固定資産の売却による収入	1,286
無形固定資産の取得による支出	△12,178
投資有価証券の売却による収入	45,703
その他投資等の取得による支出	△4,664
その他投資等の売却による収入	1,807
投資活動によるキャッシュ・フロー	13,628
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△107,100
財務活動によるキャッシュ・フロー	△107,100
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	33
V 現金及び現金同等物の増加額 (又は減少額)	△24,491
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,762,497
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	1,738,005

(3) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（平成19年4月1日～6月30日）

当社グループは、車両再販業務支援、システム業務支援、営業業務支援を融合した、不可分一体の事業として行っているため、事業の種類別セグメント情報の開示を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（平成19年4月1日～6月30日）

当社グループの事業は全て国内で行われており、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（平成19年4月1日～6月30日）

当社グループは、海外売上高がないため該当事項はありません。